



高齢者の就労支援について 各種スポーツ大会の補助について

堀口 きく枝 議員



質問 本市のシルバー人材センターの会員数は、令和5年が293人、平均年齢75・8歳で年々高齢化が進む中、同センターの課題について伺います。

答弁 定年年齢の引き上げや社会情勢の変化により60歳を超えても現役として働く方が多くなり、会員数は

年々減少傾向にあります。経営基盤強化のための対策を会員増強に置き、報道機関に活動状況の資料を提供し広く周知広報活動を行うなど、新規会員の加入促進を図っています。市としても高齢者が生きがいを得て地域社会とつながり健康的な生活が送れるよう支援し

ていきたいと考えています。

質問 令和11年には国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が群馬県で開催されます。今後スポーツ振興に力を入れるため、スポーツ環境を整えていく必要があり。本市の各種スポーツ団体数を伺います。

答弁 スポーツ少年団は24団体、スポーツ協会加盟団体は42団体、そのほか、スポーツ協会の各競技団体の参加団体並びに任意団体の100団体、また、学

校開放事業登録団体数は111となつています。

質問 本市における全国大会などの参加費、補助金（壮行金）の交付について伺います。

答弁 現在、全国大会や関東大会の出場選手に壮行金の交付は行っていません。

質問 競技を続けていく中で、移動交通費や食事代、飲物代やユニフォーム代など何かと費用がかかります。本市の全国大会への壮行金の交付についての考えを伺

います。

答弁 今後、公平性・平等性を念頭に、全国大会などに出場する個人や団体に対する壮行金の交付制度の創設を検討していきたいと考えています。

要望 ぜひとも本市におきまして、他の市町村などを参考にしながら、オリンピック・パラリンピック、国際大会、全国大会、関東大会などの壮行金の交付制度を設けていただくことを要望します。

地域農業の課題と 持続可能な行政運営について

飯島 一志 議員



質問 有機農業の課題について伺います。

答弁 有機農業に取り組んでいる生産者が少なく、要因として栽培技術の難しさがあります。病害虫の防除や雑草の管理など作業が多くなる上、慣行栽培に比べて収量が取れず、形も均一にならないため、普及には

農作物に付加価値をつけ、販路を確保する必要があります。と考えています。

質問 本市の農作物の加工品の可能性について伺います。

答弁 加工品として商品化することのメリットですが、通常の保存方法による販売より長く保存、販売するこ

とが可能となり、また、農産物直売所や土産品を扱う店舗でも販売ができるようになります。そのためにも、商品に付加価値をつける必要があると考えています。

質問 今後の取り組みについて伺います。

答弁 里沼リゾートホテルコモリスで有機野菜を含めた農産物直売コーナーの設置について、現在、指定管理者と協議しています。また、本市で開催される様々なイベントなどで、ミニマ

ルシェの開催を検討するなど、官民が連携をしながら新たな販路を確保していきたいと考えています。

質問 市税の減少対策としての施策を伺います。

答弁 行財政改革に取り組み、市税の増収や収納率の向上、滞納整理などの徴税強化を図るほか、市有財産の有効活用などによる自主財源の確保に努めていきます。また、事業のスクラップ・アンド・ビルドやDXの推進、現在計画中の産業

団地の開発を着実に進め、税収、雇用の確保に努めていきたいと考えています。

質問 効果的な周知方法を検討する広報戦略に積極的に取り組むのか伺います。

答弁 魅力あるまちづくりと情報発信を進めていきたいと考えています。

質問 広報戦略の組織がい

つ立ち上がるのか伺います。
答弁 後期基本計画の策定を進めながら、立ち上げに向け、庁内での検討を進めていきたいと考えています。